

令和8年 第1回定例会（3月）

一 般 質 問

質問 順位	議席 番号	質 問 者	質問 順位	議席 番号	質 問 者
1	5	渡 辺 千 恵	4	1	富 沢 雅 文
2	9	岸 野 雅 人	5	6	南 雲 好 幸
3	7	並 木 利 彦	6		

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 東口の課題と町のもう一つの玄関口として町が将来目指す形は</p>	<p>5年前に東口のアーケード老朽化の問題、商店街の空き家問題について質問をしました。「東口のアーケードの改修など町が関わり進めることはできないか。」という質問に対し、「アーケード組合があるので組合が考え進めるべき」という答弁でした。</p> <p>また令和3年度、町は「商店街エリア活性化事業」を芝浦工業大学に委託し作成しました。この調査によって、商店街の実態調査(営業の有無・今後の展望・継承意向等)今後の方向性を実現するための施策の検討をうたっていました。</p> <p>報告された内容は、東口の魅力を活かすための提案が描かれていました。あれから町としては、どのような進捗、成果があったのか。また東口は、西口とは違う魅力の「湯沢玄関口」として、大きな可能性がある場所ととらえています。</p> <p>この東口について、単発的な課題解決ではなく「将来の町が目指す姿」が大切なのではないかと考えます。今後の方向性、考えについて伺います。</p> <p>① アーケードについては、老朽化が進んでいます。「アーケード組合」については、商売をやめた方、また所有者が変わってしまっていると、アーケードを壊すにしても、作り直すにしても単独では難しい状況です。</p> <p>近年、長岡の与板地域などは行政との協力で撤去しました。また、新潟市の古町地区は、この場所の活性化を目指し、行政との両輪態勢で「活性化と賑わいの創出」を推進しています。町としては、この東口を今後どのような場所にしていきたいのか、またその中でアーケードについてもどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 東口も外国人のレンタル業者もでき、現在、路上駐車等が問題になっています。これは、西口についても同じだと思います。本来、駐車場は商店それぞれが用意するものだとは理解しますが、近隣に駐車場にする場所がないことなどで、とても難しい。</p> <p>現在は、警察も取り締まりを強化して頂いていますが、違法駐車がなくなることも難しい。町は、東口の駐車場の問題を</p>	<p>町 長</p>

どう捉えているのか伺う。

③「商店街活性化事業」として、地域をまとめようと試みたが、余り動きは見えてこない。

東口一帯をどのような場所として位置付けているのか、またどのように活かしていくのか、構想はあるのか。「目指す姿」「方向性」が重要だと思うが、町長のお考えを伺う。

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 公益的に重要な地区の「外国人による不動産取得」への考え方は</p>	<p>現状、外国人の不動産取得に制限はない。国としては国益にとって重要な土地の外国人への売買を制限する法律があるが、具体的な運用実績の報告は聞かない。</p> <p>湯沢町でも外国人への不動産の売買実績は多くあり、さらに想像を超える高額での問い合わせや打診の話はよく聞くところとなっている。根拠となる法律がない現状では、首長が考えを示し民間のご協力(報告)をいただく程度が限界かと考えられるが、町長の考えはどうか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 町道の除雪対象路線たる基準は</p>	<p>町道の(端っこまたはそうでなくとも)いわゆる「ぼつんと一軒家」の場合など、除雪路線とするか否かの明確な基準があれば、民泊の開設が相次ぐ中、あらためて示しておく必要があると考える。また人命救助や災害普及を除き、個々個別の事情により町長判断によって除雪路線としたりしなかったりした事例はあるか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 駅前広場の利用状況の改善を</p>	<p>東西の駅前広場、観光繁忙期の混乱は目を疑うばかりのものがある。まず多くの観光客が駅を出て直ぐに、当り前のように車道に降り駅を背景に記念撮影をする。車道に降りる際に転倒した方もいた。</p> <p>東口北側は普段は広々としているようだが、繁忙期は大型観光バスが詰めかけタクシー待機所にまで溢れたこともある。</p> <p>また夜間には、ドラッグストア利用者がバス待機所に入っているのを何度も見かけた。一般車の侵入は何度も見たが、最も酷いのは路線バス停留所の枠内に駐車してあったこと。</p> <p>西口広場の混乱は中々に酷く、一般車がタクシー乗降所や待機所、またはマイクロバス乗降所に停車することはざらであり、一般送迎車が、緊急車両用スペースを使うことは常態化しています。</p> <p>狭くなった西口広場の方が新幹線利用には簡便なこともあり、出入り口から駐車スペースが空くのを待って収拾がつかない</p>	<p>町 長</p>

い場面もあります。

マイクロバスが入れず、旋回もできず、停車もできないなんて場面はよく見かけます。

ロータリー内の逆走も3～4回見かけました。

また、足湯と構造物の利用者と向かいの飲食店利用者の中には、その場所から車道を突っ切って真っすぐ駅に向かう方々も多くいます。

駅という「観光の玄関口」が混乱し、危険な状態と言わざるを得ません。改善策が必要なことは明らかですが、どう対処される所存か。

質問事項	質問要旨	答弁 要求
<p>1. 湯沢町観光の現状について</p>	<p>新潟県の湯沢町は、首都圏からのアクセスの良さを背景に、季節変動が非常に大きい観光地。</p> <p>■人流の基本構造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な流入元：東京・埼玉・神奈川など首都圏 ・交通：上越新幹線・関越自動車道 ・特徴：週末集中型・日帰り利用が多い <p>■季節別の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬（最大ピーク） スキー目的で観光客が急増。 ・夏（短期集中） FUJI ROCK FESTIVAL開催時に人口が一時的に急増。 ・春、秋 比較的落ち着き、温泉や自然観光が中心。 <p>■人流の特徴まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬偏重型観光地 ・駅（越後湯沢駅）中心に分散 ・定住人口は少なく、観光依存型経済 ・季節格差が大きいことが課題 <p>■課題が見えてくる。 湯沢町は「首都圏週末型 × 冬ピーク型」という典型的なリゾート観光地の人流構造を持つ。</p> <p>① 関東圏のグリーンシーズンのお客様の人流について把握されているか、伺います。</p> <p>② 関東圏のグリーンシーズンのお客様は群馬県に流れている傾向はあるのか。</p> <p>③ 人流の基本構造の中で、新幹線の対応は、駅中等対応していると思いますが、車のお客様の観光対応はまだ湯沢町としては不十分。町全体の回遊設計は鉄道前提で作られている面が強いと思われそうですがどう思われているか伺います。</p>	<p>町長</p>

<p>2. 柏崎原子力発電所再稼働について</p>	<p>④ グリーンシーズンで顕在化する課題として、冬は目的（スキー）が明確ですが、グリーンシーズンは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドライブ観光 ・立ち寄り消費 ・複数拠点回遊 <p>などが重要になると思いますが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IC周辺に明確な観光ハブがない ・駐車場起点の歩行回遊動線が弱い ・「車で来たらまずここ」という玄関口の象徴性が薄い <p>など構造的課題は否定できないと思うが伺います。</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に伴い、原発由来電力を活用したデータセンター構想が報道されている。</p> <p>発電リスクは立地地域が負う構造である以上、その電力活用による新産業の利益についても、県内経済への波及や地元資本の参画を含め、協議・検討する必要があるのではないか伺います。</p>	<p>町 長</p>
---------------------------	--	------------

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 要 求
<p>1. 越後湯沢駅東口駅前広場の運用について</p>	<p>コロナ禍以降、急激に回復したインバウンド需要により、湯沢町には冬季、大変多くのお客様が来訪されています。観光立町としては大変喜ばしいことですが、受け入れ体制が追いついていないのではないかと感じます。</p> <p>その一つが、二次交通の重要な結節点である越後湯沢駅東口駅前広場の運用についてです。令和4年から東口バス・タクシーロータリーにスキー場シャトルバスが乗り入れて以降、年末年始や週末には、早朝からスキー場のシャトルバス待ちの長蛇の列ができて、町民が駅に入るのもやっとという状況にあります。スキー場のシャトルバス乗り入れが原因とも言えますが、観光の柱であるスキー場のシャトルバス乗り場が、以前のように路上であることの方が問題なので、乗り入れたこと自体は良い判断だと思いますが、当初の想定以上にお客様が増えたことに対応する必要があるのだと思います。</p> <p>現状では、まちづくり機構の職員を中心とした人海戦術で、この混乱をなんとかコントロールしていますが、これはあくまで対処療法であり、お客様の利便性と安全性の向上、地域住民の利用を考えると根本的な対策が必要なのではと考えます。</p> <p>① 現在の状況を町はどのように認識されているか伺います。 また、昨年6月議会の補正予算で会議開催関係予算を計上した「越後湯沢駅東口駅前広場運用検討会議」の開催状況、会議における検討状況を伺います。</p> <p>② 次のシーズンに向けての対策について検討していることがあるか伺います。</p> <p>③ 東口広場の再開発について、中長期的なビジョンがあれば伺います。</p>	<p>町 長</p>

質問事項	質問要旨	答弁 要 求
<p>1. 職員の人手不足の現状と課題、その対策について</p>	<p>9月：令和7年度第1回湯沢町職員採用試験(一般事務・保健師・保育士)での合格者は、一般事務2名、保育士1名。 11月：令和7年度第2回湯沢町職員採用試験での合格者は、一般事務(社会人経験者)1名、保育士1名。 以上の採用試験を実施したが、職員数の適正化は達成されているのか。以下3点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足の現状 ・職員数と職務遂行における課題 ・以上2点に対する対策 	<p>町長</p>
<p>2. 行政組織の体制見直しについて</p>	<p>糸魚川市は合併により部長制になったとのことだが、「4万人の市で部長制は必要ない」と言った指摘もあった。 久保田市長は、昨年、行政組織の体制を見直し、市でありながら3部制を廃止し、課長制へ戻し、コンパクトでシンプルな行政運営を図ることとした。今年4月から糸魚川市は新体制になる。 我が湯沢町は、人口8千人しかないのに部長制を取っている。人材不足の中6部制である。これは職員不足の中、行政組織の体制を見直すべきではないか、町長の見解を伺う。</p>	<p>町長</p>